

奈良県立医科大学整形外科では、診療に必要なデータ、既往症、治療法、合併症などをデータベース化しています。よりよい医療を確立するために、治療結果も含めた様々なデータを分析し、その結果を学会や学術誌などで公開する必要があります。研究活動を実施する際は、法令や倫理指針、関係団体などのガイドラインに沿って誠実に遂行し、氏名などの個人情報が発見されないように厳格に配慮いたします。以下に示す研究内容は、奈良県立医科大学の倫理審査委員会にて、その研究の実施の承認を受けております。研究はいつでも参加を取り消すことができます。研究参加を希望されない場合やご質問・ご意見がございましたら、下記相談先にご連絡ください。なお、個人情報の開示に関わる手続きは、奈良県立医科大学附属病院の個人情報開示に基づき開示手続きを行います。詳しくは下記を参照下さい。

<http://www.naramed-u.ac.jp/hospital/kojinjoho.html>

研究課題名	3b 期の内反型変形性足関節症に対する足関節固定術と遠位脛骨斜め骨切り術の成績の比較
研究対象者	2011 年 1 月から 2014 年 4 月に当科で手術治療を行った、病期 3b の内反型変形性足関節症の患者様
研究目的	進行期の変形性足関節に対する足関節固定術と遠位脛骨斜め骨切り術を、主観的評価と客観的評価を用いて比較する。これによりそれぞれの優れた点や問題点が明らかにし、今後の治療選択の一助とし、更なる改善を探索する。
研究評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本足の外科学会足部・足関節治療成績判定基準 (The Japanese Society for Surgery of the Foot scale)</li> <li>・ 自己記入式足部足関節評価質問票 (Self-Administered Foot Evaluation Questionnaire)</li> <li>・ 足関節可動域</li> <li>・ 単純レントゲン像での骨癒合率</li> <li>・ 合併症の有無</li> </ul>
主な研究担当医師	坪山大輔、谷口晃、田中康仁、熊井司
相談先	奈良医大整形外科学教室 (0744-22-3051, 内線 3425, 2324)

研究課題名	両側足関節固定術と片側足関節固定術の治療成績の比較
研究対象者	<p>当院電子カルテで検索可能な 2002 年から 2015 年 12 月 31 日までに奈良県立医大整形外科で手術を行った以下の患者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両側変形性足関節症に対して足関節固定術を行った患者</li> <li>・年齢、性別、手術手技を可能な限りマッチさせた同数の片側足関節固定術を行った患者</li> </ul>
研究目的	<p>現在、両側重症変形性足関節症に対する両側足関節固定術に関する報告は、渉猟し得た範囲では現時点では 2 編しかなく、さらに片側のみに足関節固定術を行った群との比較を行った報告はない。両側足関節固定術の治療成績を報告する事、そして片側足関節固定術との比較を通じて両側足関節固定術の是非を検討する事である。</p>
研究評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本足の外科学会足部・足関節治療成績判定基準 (The Japanese Society for Surgery of the Foot scale)</li> <li>・自己記入式足部足関節評価質問票 (Self-Administered Foot Evaluation Questionnaire)</li> <li>・術後足関節周辺の代償性可動域</li> <li>・単純レントゲン像での骨癒合率</li> </ul>
主な研究担当医師	前之原悠司、谷口晃、田中康仁、熊井司
相談先	奈良医大整形外科学教室 (0744-22-3051, 内線 3425, 2324)